

第289回俳都松山俳句ポスト

第289回開函

「櫟」 主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

桜見る正岡子規は横をみる

福岡県筑紫野市 八坂 渚

詩を詠めば心の映る春の風

埼玉県さいたま市 神田 雄輝

春風や坊ちゃんの間は三階に

広島県安芸郡府中町 今井 洋子

入選二十句

春を待つ日差しの中の松山城

京都府船井郡京丹波町 吉見 正

二分咲きの花にくぐれる隠門

東京都新宿区 山田 閏子

デコポンをほほばりながら足湯かな

大阪府大阪市 山縣 奎互

銃眼をのぞけば霞む伊予の町

大阪府富田林市 宮本 弘子

殿様の立ちたる窓に梅の花

長野県長野市 松澤 佳子

残桜やふなやの庭の空青し

神奈川県横浜市 棚橋 ヒデ子

花の舞う南無阿弥陀仏宝巖寺

広島県廿日市市 日高 誠道

大学のふたつ並んで冬ぬくし

岐阜県恵那市 西田 拓郎

梅薫る風に誘われ天守閣

奈良県磯城郡田原本町 中傳 幸一

子規展の句心ゆたか春灯

滋賀県蒲生郡日野町 寺澤 京子

風優し追儼の鬼の役継ぎて

愛媛県今治市 谷田 晃介

俳聖の息づく所花筏

山口県光市 齋藤 進

ふる里の春はええがね伊予訛

広島県呉市 影野 成子

春風や路面電車の投句箱

茨城県那珂市 宇佐美 和子

雨衣も脱がで読経の遍路かな

神奈川県横須賀市 植村 文彦

(市内)

立春や七十二才の恋みくじ

愛媛県松山市 山内 栄

外国の若者来ませ花の城

愛媛県松山市

松田 とよ

大空は日に日に青し鳥交む

愛媛県松山市

秋本 哲

(十五才以下)

ふうせんがないこもいれてういたんだ

愛媛県松山市

八束 りゆうほう

お母さんかるたあそびで本気出す

愛媛県松山市

篠藤 里莉

(伊予灘ものがたり)

頬なづる伊予灘の風春浅し

千葉県千葉市

亀井 武

投句總數 一四一〇

市外 一一五六

市内 二五四

投句者總數 九五五

市外 七九〇

市内 一六五

開函日 平成三十年三月三十一日